



## 上映会 & ジャン・ユンカーマン監督講演会

日時 ■ 2013年7月3日(水) 18:00~19:20 上映 『映画日本国憲法』  
<休憩10分>  
19:30~20:30 講演 ジャン・ユンカーマン監督

会場 ■ 主婦会館プラザエフ B2クラルテ (東京都千代田区六番町15)  
アクセス ■ JR四ツ谷駅 麴町口徒歩1分 / 東京メトロ丸ノ内線 / 南北線 四ツ谷駅徒歩3分

入場料 ■ 前売り券 および 事前お申込み(当日受取) ¥800  
当日券 ¥1000

お申込み / お問合せ ■ TEL 03-3265-8121 / メール info@shufuren.net

主催 ■ 主婦連合会 / 一般財団法人 主婦会館

# 映画日本国憲法

ジャン・ユンカーマン監督作品記録映画／78分／2005年 製作・配給＝シグロ

あなたには、この宝物がみえますか。〈世界から見たわたしたちの憲法〉

世界でも稀有なる憲法を持つ日本人に

『チョムスキー9.11』『老人の海』のジャン・ユンカーマン監督が贈る世界の声。

## 上映会 & ジャン・ユンカーマン監督講演会

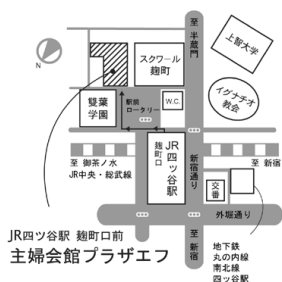
日時 ■ 2013年7月3日(水)

18:00～19:20 上映『映画日本国憲法』

19:30～20:30 講演 ジャン・ユンカーマン監督

会場 ■ 主婦会館ブラザエフ B2 クラルテ  
(東京都千代田区六番町 15)

アクセス ■ JR 四ツ谷駅 麴町口 歩1分  
東京メトロ丸ノ内線／南北線 四ツ谷駅 歩3分



入場料 ■

前売り券 又は事前お申込み(当日受取) ¥800

当日券 ¥1000

お問合せ ■ tel 03-3265-8121

e-mail info@shufuren.net

主催 ■ 主婦連合会

主婦会館

### ■ 監督のことば：ジャン・ユンカーマン

この映画の製作過程で私たちはいくつかの国を旅した。そして、とくに香港とソウルで、歴史が今なおいかにダイナミックに生き、流れ続けているかを知った。戦争は60年前に終わったかもしれない。しかし、人々の戦争体験は生き続けている。戦争の悲劇と、それを忘れない義務は、条約や時間によってケジメがつくものではないし、終わるものでもない。

日本国憲法は、それが公布された時点では先駆的な文書であったし、私たちが今回の取材で再確認したように、今も世界中の人々が求めてやまない理想を示している。日本にとって、この時期にそれを捨てることは、歴史の潮流に逆らう行為だ。

私が初めて日本を訪れたのは1969年のことである。その頃、ベトナムのジャングルでは50万人以上のアメリカ兵が戦っていた。私は16歳だった。当時のアメリカには徴兵制があったから、いずれは自分も不当で無節操な戦争に参加しなければならないという不安を感じていた。日本の平和憲法は、アメリカにあふれ返る軍国主義と明確な対照を成す、悟りと知恵の極致のように思えた。そのことが、日本にいるといつもやすらぎを感じられた理由の一つであろうし、私が長い間、日本に住み、日本で子供たちを育てようと思った大きな理由ともなっている。将来、私の子供たちが、平和憲法をもつ国で子供を育てる道を選択できなくなるかもしれないと考えると、恐ろしくてならない。

平和憲法と、それに守られている人権は、空気のようなものである。私たちはそれらを当然のものと感じ、ことさら考えてみるのがない。現在の改憲論議は、私たちに憲法の意味をふたたび気づかせてくれる。日本に住み、日本で働き、日本で家族を育てているすべての人にとって、それがなぜ、どのようにして書かれたのか、そしてどうすればその精神を守り、広げていけるかを考えるよい契機となる。

監督：ジャン・ユンカーマン John Junkerman

1952年、米国ミルウォーキーに生まれる。スタンフォード大学東洋文学語科卒業。ウイスコンシン大学大学院修士課程修了。国際政治、経済、労働運動、環境問題などの分野でジャーナリストとして活躍。そのかたわら、映像の世界へも道を拓く。1988年、映画『HELLFIRE 劫火』を監督。米国アカデミー賞記録映画部門にノミネート。9.11のテロ後にノーム・チョムスキーにインタビューした『チョムスキー9.11』(2002)は世界十数カ国語に翻訳・上映され、現在も各国で劇場公開が続いている。他に、与那国のカジキ捕りの老漁師を描いた『老人と海』(1990)、エミー賞受賞作「夢窓～庭との語り」(1992)、ミシシッピー川沿いに旅しながら、地元のミュージシャンとの交流や彼らの音楽活動を記録した『The Mississippi: River of Song』(1999)など、現在も日米両国を拠点に活動を続ける。

